

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2	指定管理者	一般社団法人 マザー・ウイング
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 79,043人 (前年度比103.6%) 内訳 ひろば利用者 53,724人 託児利用者 1,872人 中高生 19,821人 子育て支援者 905人 ホール利用 123件 (2,721人) ※視察等の利用者 703人 平成27年度 89,526人 平成28年度 81,511人 平成29年度 76,320人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供, 子育てに関する相談, 情報提供等, 子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 54,210千円 (53,952千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 4,192千円 (3,686千円) ※託児料 587千円 (596千円) ※ホール利用料 ・ その他収入 521千円 (538千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見箱の設置 ・ イベント開催時に, 参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し, 掲示等により利用者に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く, 子育てを総合的に支援し, 子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し, 事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても, ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。	29/29
III 施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で, 遊具等が破損していないか, 温度は適切かなど, 館内の状況に常に配慮し, 利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施, 利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など, 意見や要望等を積極的に取り入れ, 利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても, 業務ごとのマニュアルを整備し, 日々のミーティング等で情報共有を図るなど, サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し, 利用者のニーズを的確に把握しながら, 乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集, 一時預かり事業, 子育てに関する情報収集, 提供事業などを適切に実施している。	11/11

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（一般社団法人 マザー・ウイング）による自己評価》
<p>平成30年度中に法人として10周年を迎え、のびすく泉中央も平成31年4月に10周年を迎えます。10年目を迎える職員も全職員の中で半分近く占めることもあり、来館者が多い時も、より丁寧に親子に対応できるゆとりをもった運営が出来ています。利用者支援事業の周知が進み、相談対応に追われる1年でした。自主事業として相談事業や訪問子育て支援事業を行ってきたことで、しっかりと親子に寄り添い、子育ての辛い気持ちや孤立感に寄り添うことが出来たと感じています。</p> <p>託児の利用は例年通りでしたが、新しく託児を行うことが不安な親子へのイベントを初めて実施し、好評を得ています。</p> <p>泉中央の大きな特徴として、子育て支援を行う方への支援活動があります。子育て支援者支援事業は、支援者同士やその利用者との貴重な交流の場となっています。全市的ネットワーク構築事業の委託を仙台市より受け、全市的な子育て支援のネットワーク構築と推進に力を注ぐことができ、参加者も多く評価も高いものをいただきました。</p> <p>中高生支援事業では、大学生ボランティアを導入することで、ピアサポートの良さを生かした運営を行うことが出来ました。乳幼児親子と中高生のふれあいが出来ることも強みであると考え、地域の学校、施設と連携し多くの事業を実施することが出来ました。</p> <p>ホール運営については、建物の老朽化に伴い、設備の修理など、課題が多くあると感じています。今後広報活動に力を入れていきたいと考えています。</p> <p>設備は、全体的に老朽化が進み、経年劣化による修理、故障が発生してきています。注意深く様子を見ながらすすめているところです。利用者に快適な環境を提供できるよう努めました。職員自らが考え、アイデアを出し、研修や視察を通じて施設の運営に役立てるよう、一人一人のスキルアップに努めた1年でした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>職員に対しロールプレイ形式の接遇研修等を行い、利用者が気持ちよく過ごせるよう丁寧な対応を心がけている。また、ひろば内に、利用者の子育ての悩みや疑問に他の利用者が答える「Q&Aボード」、利用者が日常の思いを書くことのできる「雑記帳」を設置することで、利用者同士が共感し合い、子育てのヒントを得られる場として活用されている。一時預かりについては、一時預かりを体験でき、その感想について利用者同士で話し合うイベント「みんなで託児デビュー」を企画したり、託児室の利用がない時間に見学会を開催したりしたことで、利用者の一時預かりに対する抵抗感や不安を取り除くことができ、利用の促進につながっている。また、相談事業にも力を入れており、事例検討を通して、ひろばや一時預かりの職員と、本市の委託事業の専門相談員との連携をより密にし、子育て家庭の負担軽減に大きく貢献している。</p> <p>4階プラザでの中高生事業においては、利用者がやりたいことを出し合う「4プラ委員会」を定期的で開催し、利用者の興味関心に応じた運営を行っており、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課